

# 紀北分院通信

8

平成23年8月1日

月

2011. August



## 和歌山県立医科大学附属病院紀北分院

〒649-7113 和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺219番地

TEL 0736-22-0066 FAX 0736-22-2579

お問い合わせ 小児科：飯塚 E-mail [taiizuka@wakayama-med.ac.jp](mailto:taiizuka@wakayama-med.ac.jp)

医事班：山本

ホームページ <http://www.wakayama-med.ac.jp/med/bun-in/index.html>

### 基本理念 まごころと調和

私たちは、患者様との絆を大切に人間味あふれる、まごころと調和のとれた病院づくりを追求し、安心と納得の医療を提供します

## 高齢者の脳出血（脳アミロイド・アンギオパチー）

脳神経外科 講師 田中 禎之（たなか よしゆき）

脳アミロイド・アンギオパチーとは、高齢者の大脳に、何度も繰り返し多発する脳出血の一つの型です。アミロイドというたんぱく質が脳血管に沈着することで、脳出血、認知症などの原因となります。発症頻度は加齢とともに増加し、わが国の剖検例の検討では、60歳代で33%、70歳代で53%、80歳代で54%、90歳以上で74%に認められました。出血する場所にも特徴があり、脳の深部に出血する高血圧性脳出血と違い、脳の表面に近い場所（皮質～皮質下）に出血します。脳出血による症状は出血する場所により、頭痛、片麻痺、失語、視野欠損、高次脳機能障害などさまざまです。

また、脳出血のほかに進行性の認知症を呈することもあります。繰り返す脳出血や脳梗塞による脳血管性認知症が原因となることもありますが、アルツハイマー病を合併していることもしばしばみられます。

脳出血の有無は、脳CTや通常撮影の脳MRIで容易に判定できますが、脳アミロイド・アンギオパチーによるものか高血圧性によるものかの鑑別はときに困難であります。そこで、過去の出血を検出できるMRIの特別な撮影法（T2\*）を用いることで、脳アミロイド・アンギオパチー特有の大脳表面近くの微小出血痕の有無から鑑別することが可能となりました。

脳アミロイド・アンギオパチーの治療については、アミロイド沈着そのものに対する治療法はなく、脳出血の予防として有効性の確立された治療法もありません。根本的治療法や予防法は今後の課題です。脳出血に対する治療法は、高血圧性脳出血の治療法に準じており、点滴治療（止血薬、

抗脳浮腫薬)か外科的治療(血腫除去術)が選択されます。

高齢者で何度も繰り返す脳出血や進行性の認知症でお困りの方・ご家族さまは、紀北分院脳神経外科を受診の上、相談してください。

脳神経外科 講師：田中 禎之(たなか よしゆき)

専門分野：脳卒中一般、頭部外傷、脳腫瘍の外科・病理、分子脳神経外科

## 外来栄養食事指導の申込みが簡単になりました

紀北分院 栄養指導室

糖尿病や高血圧症など生活習慣と深く関わりのある疾患には、食事療法が欠かせません。当院では、そういった患者様の食生活をサポートするために「かかりつけ医」の先生方からご依頼のあった患者様について、外来での栄養食事指導を実施しています。実施日は月～木曜日です。

管理栄養士が、患者様の生活スタイルに合わせ、より具体的な食事療法の提案等を行います。栄養食事指導が必要な患者様にぜひご利用下さい。

栄養食事指導の依頼・実施は以下のとおりになります。

- ①診療情報提供書(外来栄養食事指導用)に必要事項を記入して頂き、当院地域医療連携室にFAXしてください(FAX 0736-22-8275)。
- ②当院地域医療連携室が外来診察・栄養食事指導の予約をとり、20分以内を目途に予約票を返送します。
- ③かかりつけ医の先生方から患者様に診療情報提供書(外来栄養食事指導用)をお渡しください。
- ④患者様には予約当日、診療情報提供書(外来栄養食事指導用)を提出の上、外来診察を受診された後、管理栄養士による栄養食事指導を受けて頂きます。
- ⑤患者様が継続指導を希望される場合、または継続指導が必要な場合は次回の予約をお取りします。
- ⑥栄養食事指導の内容については、後日紹介元の先生方に送付させていただきます。

### 〈対象疾患〉

糖尿病 糖尿病腎症 腎臓病 心臓病 高血圧症 脂質異常症 肥満(BMI30以上)  
肝臓病 痛風 膵臓病 胃・十二指腸潰瘍 消化管術後 クロウン病 潰瘍性大腸炎  
鉄欠乏性貧血(Hb10g/dl以下) 食物アレルギー除去食(9歳未満)



## 七夕会

紀北分院 看護部

「季節を感じられるイベントを」の一言で、急遽取り組んで7月7日に、病院の玄関ホールで七夕会を開催しました。今回の七夕会の準備を行う中で、世界や日本各地でそれぞれの言い伝えや、行事があることを知りました。七夕伝説は、日本だけで語られているものではなく、アジアやヨーロッパなど、広く世界各国で星座や天の川にまつわる話が存在しています。

そして、日本にも数多くの説があるように、一つの国でもその地域によって、いくつもの七夕伝説が語り継がれています。北ヨーロッパでは、天の川は天上界に通じる橋や道に見立てることが多いようです。

毎年気になるところは当日、星が見えるのか... というところですが、この星が見える・見えな

いに関してもそれぞれの地域でいろんな言い伝えがあるようです。七夕の夜、少しでも雨が降れば二人は逢えないといわれるところもあれば、雨でも二人は出会える「雨は織姫のうれし涙で、雨水によって汚れが洗われると伝わる所もあります。

一方、二人が出会えば病が流行るとして会えないように、雨を願うところもありました。昔、七夕は旧暦の7月7日（今の8月12日頃）に行われていたため、干ばつに苦しんでいた地方の人々が雨を願った.....ということもあるようです。今年の天気も、あいにくのお天気でお星様は見えませんが、喜んでくれた皆さんの笑顔が何よりのキラキラ星でした。

イベント内容は、理学療法士の齋藤さんによる三味線演奏をはじめ、看護師や病院スタッフによるコント・手話付き歌・ダンスなどを企画しました。浴衣を着た齋藤さんの三味線の音色は、患者様の歌声とともにとても和やかな雰囲気になっていました。

また、笑顔と笑いを誘ってくれたダンスや歌の披露が、いつもの受付・待合室とは異なった明るいコンサートホールに変わった瞬間でした。このような行事は、一人ではできないけど、職種を超えて職員が一丸となることでこの七夕会を成功することができたのだと実感しました。

七夕の日の夕方、九度山の慈尊院に、患者様の願いを飾った笹飾りを奉納させていただきました。今後は、患者様はもちろん地域の方々との交流も行える行事を行っていきたいと考えています。

「皆様の願いが届きますように」

患者様の一日も早いご回復をお祈りしています。

## 医師紹介

### ○脊椎ケアセンター

脳神経外科

講師 田中 禎之（たなか よしゆき）

専門資格

- ・日本脳神経外科学会専門医
- ・日本脳卒中学会専門医

コメント

「まごころ」をもって診察いたしますので、お気軽に御受診あるいは御紹介下さい。

助教 大饗 義仁（おわい よしひと）

専門資格

- ・日本脳神経外科学会専門医
- ・日本摂食・嚥下リハビリテーション学会認定士

コメント

脳腫瘍や脳血管障害、脊椎疾患などの脳神経外科一般が専門分野ですが、認知症や嚥下障害などにも取り組んでいます。外来では、「もの忘れ外来」もしていますので、もの忘れでお困りの方も気軽に受診ください。

## お知らせ

○平成23年8月から外来診療体制に一部変更がありますので、ご注意ください。

